

25mプール、幼児用プールも老朽化した設備であり、今後の修繕を考慮しても継続使用は困難な状況と思われました。そのため、3月議会では「50mプールだけでなく、老朽化している市営プール全体を考慮した事業とし、解体撤去を含め、今後のプール跡の利用について早急に検討すべきではないか。」として関係予算を削除したにもかかわらず、この6月に再度補正予算として計上しています。

また、3月23日付で「笠岡運動公園施設事業に対する意見書」を市長あてに提出し、運動公園の



全体像を検討し、事業内容を提示するよう求めたのに対し、6月6日付けの回答書には、8月実施予定の市民アンケート、関係団体からの意見等を入れた「新笠岡運動公園」構想をまとめるとあるものの、担当課の説明では公園全体の整備計画の策定よりも50mプール撤去を優先させています。

3月提案と内容が全く同じで、緊急の撤去を訴えるに足る危険性も明確でなく、漏水原因もわからない中、危険の可能性だけを理由に撤去工事をする事に終始しているように思われました。

また、50mプールを撤去し地盤の確認を行うことで、25mプールや幼児用プールの継続使用を見極める判断材料とするとの答弁もありましたが、本来は撤去工事前に専門業者等を含めて協議し、より将来に向けての有効な工事を行うものではないでしょうか。

笠岡運動公園に関しては、公園全体の将来構想を早急に策定することを優先し、現在のプールの撤去を含め、公園設備の整備計画を市民の意向を踏まえて、最善策を考えていただきたいと思えます。



これらのことから、この予算については、「原案を一部修正し、教育費の関係予算2,997万円を削除すべきである。」との修正案が分科会から提示され、予算決算委員会で採決の結果、賛成多数で修正案を可決し、本会議でも修正可決しました。

(※議案に対する賛否の一覧は7ページに掲載しています。)